

許せません!! 沖縄・辺野古に土砂投入強行

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設をめぐり、政府は12月14日、辺野古埋め立て土砂の投入を強行しました。沖縄県民の意思を踏みにじる安倍政権の暴挙です。



▲土砂の投入作業が強行された辺野古の現場

即時中止を

共産党・小池書記局長が厳しく批判

日本共産党は土砂投入が強行された12月14日、東京・JR新宿駅前前で抗議の緊急街頭宣伝を実施し、小池晃書記局長が「県民の怒りの火にガソリンを投入することになる。新基地は断念せよという声を東京、日本中から沖縄に集めていこう」と訴えました(右写真)。



小池氏は、沖縄県知事選で玉城デニー氏が圧倒的に勝利したにもかかわらず、「辺野古新基地建設を許さないという民意を一顧だにせず、土砂投入した。県民の思いを土足でふみにじる暴挙を絶対に許すわけにはいかない」と批判。国が行政不服審査法で埋め立て承認撤回を執行停止したことについて、「法律違反の無法行為であり、違法に違法を重ねるものだ」と告発しました。

投入強行の背景に、来年2月24日に予定される新基地建設を問う県民投票があるとして、「土砂を投入すれば、あきらめるだろうという思惑がある」と指摘。「このやり方には未来も展望もない。大浦湾側にはマヨネーズ並みの超軟弱地盤があるが、必要な設計変更には知事の許可が必要であり、デニー知事はそんな工事を許可しないだろう。新基地建設を許さない声を上げれば止めることはできる」と強調。「“新基地建設は断念せよ”の声をいっしょに上げていこう」と呼びかけました。街頭宣伝では、宮本徹衆院議員も訴えました。

安倍政権の暴走ストップ!!

あまりにもひどい安倍政権のやり方は絶対に許せません。しかし、沖縄では「あきらめない」の声が広がり、全国の世論調査でも土砂投入反対が圧倒しています。追い詰められているのは安倍政権です。いまこそ安倍政権ストップの声を突きつけましょう。



参議院議員(東京選挙区選出)

きらよしこ

吉良よし子

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2018年12月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介しします。

発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可